

□技術・家庭（技術）の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

	技術・家庭（技術）の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などが記載されており、科学的な根拠に基づく知識を習得できるようになっている。	○	○
共通 2	基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	「TECH Lab」で基本的な知識及び技能を習得することができるようになっている。また「技術の匠」では職業が紹介され、職業観・勤労観を育むことができるようになっている。	◎	◎
共通 3	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	「技術の匠」では、社会で活躍する技術に携わる人を紹介し、製品の開発に込められた意図などが説明されている。	○	○
共通 4	実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」では、安全への意識を高められるようになっている。実習や実験において「安全」や「衛生」マークを用いられ、生徒の注意喚起を促すようにしている。	○	○
共通 5	授業時数については、いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	各内容の分量は、実数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるように構成されている。	○	○
技術 分野 1	《A材料と加工の技術》、《B生物育成の技術》、《Cエネルギー変換の技術》、《D情報の技術》については、それぞれに関する基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる内容になっていること。	資料で生活や社会に関連する技術が紹介され、単元の最後に「これからの技術」でも紹介されている。社会の中で使用されている用語についても説明がある。	○	○
技術 分野 2	生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、制作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うことができる内容になっていること。	「問題解決の評価、改善、修正」という項目で、一連の流れが分かりやすい。問題解決例のページは、問題解決のプロセスに沿った構成で、生徒が問題解決に主体的に取り組めるようになっている。	◎	◎
技術 分野 3	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度（知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、一人ひとりが自らの個性を生かすとともに、多様な人々と共にかかわっていかうとする態度等）を養うことができる内容になっていること。	「SDGsとTechnology」という項目で、現在の技術の資料が記載されており、持続可能な社会の構築に寄与する態度を養えるようになっている。各単元の「これからの技術」に資料として記載されている。	○	○

□技術・家庭（技術）の観点 教科書会社名（ 教育図書 ）

技術・家庭（技術）の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	「見つける・学ぶ・ふり返る」の流れを基本とし、「見つける」で学習意欲を喚起し、「学ぶ」で自主的に学習し、「ふり返る」で学習理解の確認ができるようになっている。	○	○
共通 2	基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	「先輩に聞いてみよう」のコラムや「先輩からのメッセージ」のページがあり、進路について考えさせることができるようになっている。	○	○
共通 3	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	各編に各地域の伝統文化や産業が掲載され、各地域の職業人のインタビューや全国の博物館の情報が掲載されている。	○	○
共通 4	実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	巻頭と各領域の2章において、各作業場での注意事項が掲載されており、生徒に注意喚起を行うことができる。本文に「安全」「衛生」のマークを記載されており事故防止への配慮がされている。	◎	◎
共通 5	授業時数については、いずれかの分野に偏ることのなく配当されていること。	各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるように構成されている。	○	○
技術 分野 1	《A材料と加工の技術》、《B生物育成の技術》、《Cエネルギー変換の技術》、《D情報の技術》については、それぞれに関する基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる内容になっていること。	各領域の最終章にある「社会の発展と技術」では、社会における技術のプラス面とマイナス面の資料を掲載して、自ら考え判断できる内容にしている。	○	○
技術 分野 2	生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、制作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うことができる内容になっていること。	問題解決に関する内容において、実習が中心となっているため、課題解決における評価・改善に関する内容が不足している。	△	△
技術 分野 3	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度（知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、一人ひとりが自らの個性を生かすとともに、多様な人々と共にかかわっていかようとする態度等）を養うことができる内容になっていること。	ガイダンスでは、私たちの暮らしを支えている技術の事例を紹介することで、社会の中でどのように技術が利用されているかを考えることができるようになっている。	○	○

□技術・家庭（技術）の観点 教科書会社名（ 開隆堂 ）

技術・家庭（技術）の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	振り返りの進め方が図で示されており、わかりやすい。各単元の最後に設けてある「CHECK」によって、自己の学びを調整し深い学びになるようになっている。	○	○
共通 2	基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	実践的・体験的な活動を通して学習を進めることができる。「Interview」で職業の紹介があり、技術に関する職業の理解を促すことができるようになっている。	○	○
共通 3	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	各内容のまとめでは、これからの技術について考えさせる話題が取り上げられ、将来的にも技術に関心や課題意識をもてるようにされている。	○	○
共通 4	実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	個々の学習場面と関連付けて「安全」マークが表示されているため、生徒に着目させることができる。作業に関するだけでなく、実生活に関する注意点が記載されている。	◎	◎
共通 5	授業時数については、いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	本文は、特定の事項・事象・分野などに偏ることなく、全体として調和がとれている。	○	○
技術 分野 1	《A材料と加工の技術》、《B生物育成の技術》、《Cエネルギー変換の技術》、《D情報の技術》については、それぞれに関する基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる内容になっていること。	各単元の最後に「これからの技術」として関連する内容が紹介されている。各題材とも、実験を通して科学的な視点を育てる配慮がされている。	○	○
技術 分野 2	生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、制作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うことができる内容になっていること。	各課題例のところにそれぞれの課題設定、設計、評価・改善が記載されている。各学習項目の「CHECK」で、自ら解決しようとする能力を養うことができるようになっている。	○	○
技術 分野 3	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度（知的財産を創造、保護及び活用しようとする態度、技術に関わる倫理観、一人ひとりが自らの個性を生かすとともに、多様な人々と共にかかわっていかうとする態度等）を養うことができる内容になっていること。	各内容の最後に、社会や環境と技術とのかかわりについて、技術の在り方や活用の仕方を客観的に判断・評価し主体的に活用しようとする態度を育てられるようになっている。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 技術・家庭
（家庭）

□各教科共通の観点（技術・家庭 家庭分野） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造することができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	発達段階に応じた内容になっている。特に、ガイダンスのページでは、今の自分を振り返ることができるものになっている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	3年間でA家族・家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の内容がすべて取り扱われるようになっている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	教科間・学校種間の関連を図ることができるような表示があり、QRコンテンツを活用して関連する内容を見ることができる工夫がされている。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各内容の中で「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」という項目が示され、生徒の言語活動が充実するように配慮されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が興味・関心をもって学習を進めていくことができるような図や資料が多数掲載されている。「話し合ってみよう」や「考えてみよう」では、生徒の対話的な学習や深い学びが促されるように配慮されている。また、資料として思考ツールの例があり、問題解決力を高める工夫がされている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	ユニバーサルデザインに関する内容や性差を意識させない人物の起用など、多様性を認め合うことができるよう配慮されている。また、左利きの場合の針の運び方について紹介されている。持続可能な社会の創り手として成長できるよう、「持続可能な食生活を目指して」など、各内容と関連させたページが設定されている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。特に、巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう!」というページがあり、各実習における安全や衛生面での注意事項がまとめて示されている。	○	○
3	分量	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は、「発展」と表記され、学習と関連したものであり、生徒の興味・関心を広げたり、高めたりするものになっている。	○	○
		ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分に応じた適切な内容が配分されている。	○	○
4	使用上の便宜	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りがなく、調和がとれている。	○	○
		ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文中に資料や図の表記がない部分もあるが、生徒の学習が深まるよう、関連のある内容が配置されている。	△	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の最初に発展的な内容に関しての説明があり、該当するページには「発展」という表示がある。	○	○
5	印刷・製本	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	QRコンテンツが細かく配列しており、必要に応じて活用することが可能である。リンクマークで小学校の学習内容と深くかかわりのあるところについてもコンテンツが配置してある。	◎	◎
		ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明で、文字の色合いや大きさ、字体は適切であり、全ての生徒にとって優しい色づかいである。	○	○

□各教科共通の観点（技術・家庭 家庭分野） 教科書会社名（ 教育図書 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造することができるものとなっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に応じた内容になっている。小学校までの学習やこれまでの成長を振り返るための資料が掲載されている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	3年間でA家族・家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の内容がすべて取り扱われるようになっている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各教科だけでなく、小学校での学習内容との関連を図ることができる内容を関連マークで示し、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各内容の中で「やってみよう」や「話し合ってみよう」という項目が示され、生徒の言語活動が充実するように、ロールプレイの例が示されるなどの配慮がされている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各内容で、身の回りの生活から問題解決学習が進められるように4つのステップで示してある。章末には、「学びを生かそう」で課題設定から解決に向けた流れが示されており、課題解決の力が身に付くような構成になっている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「家族・家庭生活」の内容では、多様な家族や家庭が取り扱われている。また、性別等にとらわれずに生徒が協力・協働できるようなイラストが使っている。実習関係では、左利きの取扱いがない。SDGsについての取扱いは一部の内容で発展や参考のみ示されている。	△ △
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。特に、「実習は安全に取り組もう！」というページでは、各実習における安全や衛生面での注意事項がまとめて示されている。	○ ○
3	分量	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は、「発展」と表記され、生徒の理解度や興味・関心に応じて、学習を進められるように配慮してある。	○ ○
		ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分に応じた適切な内容が配分されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りがなく、調和がとれている。	○ ○
		ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文に沿って図表や写真等が適切に配分され、構成されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の最初に発展的な内容に関する説明があり、該当箇所には「発展」という表示がある。	○ ○
5	印刷・製本	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	QRコンテンツが各内容ごとに示されており、教科書内にコンテンツの内容が分かるようにしてある。また、実習の説明動画や記録レポート等が活用できるようになっている。	○ ○
		ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明で、字体等は適切である。文字が大きく、行間がとってあって読みやすい。章ごとに色の統一はあるが、配色が多い。	○ ○

□各教科共通の観点（技術・家庭 家庭分野） 教科書会社名（開隆堂）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に応じた内容になっている。特に各内容のはじめには、小学校での学習内容との関連が示され、段階的に学習を進められるようになっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	3年間でA家族・家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の内容がすべて取り扱われるようになっている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	△	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	△	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○

□技術・家庭（家庭）の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

技術・家庭（家庭）の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	「生活の課題と実践」のページには、課題解決の流れ、発表の仕方の例が載っており、学びを生活に生かす流れになっている。また、調理方法の違いを比較する表や、住まい方についての様々な状況の絵があるなど、学習活動の充実を図ることができる内容になっている。	○	○
共通 2	基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	どの内容においても、多くの資料が掲載されている。生活の営みに係る見方・考え方を意識しやすいように、ガイダンスや各内容のはじめに説明があり、マークで分かりやすく示されている。さらに、各内容に関連した大人のインタビューがあり、学んでいることが将来の職業、暮らしにつながっていることに気付くことができる構成となっている。	○	○
共通 3	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	巻頭のWarm upページに課題解決の流れが示されている。さらに、学習の流れが目標、はじめの活動からまとめの活動で統一されており、問題解決が促されるようになっている。また、様々な方へのインタビュー、地域との具体的な接触場面など、連携を図るよう配慮した内容になっている。	◎	◎
共通 4	実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	巻頭に安全、衛生についての具体的な説明があることに加え、各内容の実習のページにも細かく注意点が示されている。また、マークを用いて、安全や衛生を意識させるものとなっている。	○	○
共通 5	授業時数については、いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	各内容の分量は、時数、学期、学年配分等からみて偏りがなく、適切である。	○	○
家庭 分野 1	少子高齢化社会の進展に対応して、幼児との触れ合い体験などを一層重視するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに重点をおいた内容になっていること。	「幼児の生活と家族」では、多くの写真や図で詳しく説明されていて、幼児との触れ合い体験の充実につながるものになっている。また、発達段階を詳しく知ることができる内容となっており、体験活動の一層の充実につながるものになっている。高齢者については、地域の内容と含めて「協働」を意識できるようになっている。全体の流れとして、自立から共生を意識した構成となっている。	◎	◎
家庭 分野 2	食育を一層推進するために、小学校での「ゆでる、いためる」に加え、「煮る、焼く、蒸す等」の調理方法を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるような学習活動に重点を置いた内容になっていること。	「蒸す」については、蒸し器の使い方、蒸し器がない場合の方法、3種類の調理例が載っている。それぞれの実習例に「煮る」「蒸す」「焼く」等の表記がある。また、調理方法を比較できるページがあり、それぞれの調理方法の特徴が分かるものになっている。	○	○
家庭 分野 3	日本の生活文化に関することとして、和食や和服など、日本の伝統的な生活についても扱い、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっていること。	日本や郷土に昔から伝わる食、衣服、住まいを中心に多数例示されている。伝統・文化に関する内容には、「伝統文化」マークが付されており、生徒の意識を高めるように工夫されている。	○	○
家庭 分野 4	豊かな住生活に向けて、幼児や高齢者の家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方や安全な住まい方についての課題を解決することができる内容になっていること。	家庭内事故の防止について、シミュレーションで深められるようになっている。防災・減災に関する内容は「防災」マークで分かりやすくしてある。巻末には、「災害に備える」内容がまとめられている。	◎	◎
家庭 分野 5	自立した消費者を育成するために、計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容について、他の内容と関連を図り、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容になっていること。	計画的な金銭管理については、消費支出の割合や金銭管理の方法などが掲載されている。環境への配慮については、それぞれの内容の最後に持続可能な社会との関連がまとめられている。また、調理や被服製作のページにも環境に配慮した実践例が紹介されている。	○	○

□技術・家庭（家庭）の観点 教科書会社名（ 教育図書 ）

技術・家庭（家庭）の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1 実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」などが各内容に設定されており、自分の考えを説明するなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっている。また、「学びに生かそう」では、自分の課題を設定できるよう、複数の例が示されている。	○	○
共通 2 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	調理実習、製作ともに基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように、多くの資料が示されている。調理例や作品例も多く、生徒の実態に応じて製作することができ、実践的・体験的な活動の充実につながるものになっている。また、「センパイに聞こう!」では、学習内容と職業・生き方との関わりが分かる構成になっている。	◎	◎
共通 3 生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	各内容の最後に「学びを生かそう」として、学習を生かしてどのように自分の課題を解決していくとよいか、モデル例が示されている。また、巻末に「生活の課題と実践」として、家庭や地域での課題解決に取り組めるように、学習の流れを示すとともに、具体例が多く掲載されており、学習活動の充実につながる内容になっている。	◎	◎
共通 4 実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び 安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっている。特に、「実習は安全に取り組もう!」のページでは、様々な実習場面において、安全に取り組むためにはどうしたらよいかを考えることができるものになっている。	○	□
共通 5 授業時数については、いずれかの分野に偏ることのなく配当されていること。	各内容の分量は、時数、学期、学年配分等からみて偏りがなく、適切である。	○	○
家庭 分野 1 少子高齢化社会の進展に対応して、幼児との触れ合い体験などを一層重視するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに重点をおいた内容になっていること。	「幼児の生活と家族」では、多くの写真や図が掲載され、幼児との触れ合い体験の充実につながるものになっている。また、「資料」として、幼児との様々な触れ合いの場面が示されており、体験活動の一層の充実につながるものとなっている。高齢者や地域の人々との協働については、各地の協働活動や高齢者の動作体験例が紹介されている。	○	○
家庭 分野 2 食育を一層推進するために、小学校での「ゆでる、いためる」に加え、「煮る、焼く、蒸す等」の調理方法を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるような学習活動に重点を置いた内容になっていること。	主な調理方法の特徴と調理例が示され、それぞれの調理方法が比較しやすくなっている。また、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう、各調理例のポイントも掲載されている。「蒸す」については、蒸し器やフライパンを使った4種類の調理例が紹介されている。	○	○
家庭 分野 3 日本の生活文化に関することとして、和食や和服など、日本の伝統的な生活についても扱い、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっていること。	日本の伝統的な年中行事や、衣食住の生活にかかわる日本の伝統文化を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっている。	○	○
家庭 分野 4 豊かな住生活に向けて、幼児や高齢者の家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方や安全な住まい方についての課題を解決することができる内容になっていること。	日ごろから防災意識を高められるようになっており、防災や減災について適切に扱われている。家庭内事故の例では、教科書にすべて解答が示しており、コンテンツ内で課題解決が行えるようになっている。	○	○
家庭 分野 5 自立した消費者を育成するために、計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容について、他の内容と関連を図り、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容になっていること。	金銭管理や消費者被害の事例等、時代の流れに合わせた資料が充実し、生徒の実態からイメージしやすい仕様になっている。環境への配慮については、SDGsや消費、資源との関わりについてまとめられたページがあり、自分のライフスタイルを意識できる内容になっている。	◎	◎

□技術・家庭（家庭）の観点 教科書会社名（ 開隆堂 ）

技術・家庭（家庭）の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活や社会における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図ることができる内容になっていること。	各内容に「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」という課題が設定されており、学習活動の充実を図ることができるものになっている。また、「生活にいかそう」として、課題を解決するために自分の考えをまとめ、説明したり、友達の考えを聞いたりすることができるようになっている。	○	○
共通 2	基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、仕事の楽しさや完成の喜びを体得させるよう、実践的・体験的な活動の充実を図る内容になっていること。また学習内容と将来の職業の選択や生き方との関わりについて扱っていること。	基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように多くの資料が掲載されている。調理実習では、1食分の献立を作ることができるように、献立の組合せや手順の例が時間の使い方とともに示してある。「先輩からのエール」として、学習内容と将来の職業選択や生き方との関わりについて扱われている。	○	○
共通 3	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習活動の充実とともに、家庭や地域社会、企業などとの連携を図るよう配慮した内容になっていること。	「生活の課題と実践」の進め方の例があるとともに、各内容においての課題例が示してあるため、生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決することができる構成になっている。また、「参考」として、地域社会と連携を図った実践例が紹介されている。	○	○
共通 4	実習にあたっては、火気、用具、材料などの取扱いに注意した事故防止及び安全と衛生に十分留意した内容になっていること。	安全や衛生などに留意する内容には、マークが付けられている。また、幼児との触れ合い体験学習のページでは、事故の防止や衛生面について考えることができるものになっている。	○	○
共通 5	授業時数については、いずれかの分野に偏ることなく配当されていること。	各内容の分量は、時数、学期、学年配分等からみて偏りがなく、適切である。	○	○
家庭 分野 1	少子高齢化社会の進展に対応して、幼児との触れ合い体験などを一層重視するとともに、高齢者など地域の人々と協働することに重点をおいた内容になっていること。	「幼児の生活と家族」では、多くの写真や図で詳しく説明されており、幼児との触れ合い体験の充実につながるものになっている。特に、様々な体験方法が示しており、学校の実態に応じて資料を活用することができる内容になっている。また、高齢者など地域の人々と協働することに重点が置かれるとともに、地域の中で共に生活する視点で項目が構成されている。	◎	◎
家庭 分野 2	食育を一層推進するために、小学校での「ゆでる、いためる」に加え、「煮る、焼く、蒸す等」の調理方法を扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるように学習活動に重点を置いた内容になっていること。	各食材で「蒸す」、「煮る」調理例が示されている。調理実習の献立例では、和食が多く、日本各地の郷土料理や行事食についても数多く紹介している。調理方法Q&Aで、生活の疑問に気付くことができるようになっている。	○	○
家庭 分野 3	日本の生活文化に関することとして、和食や和服など、日本の伝統的な生活についても扱い、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を社会の一員として継承することの大切さに気付くことができる内容になっていること。	和服や日本の伝統的な生活の仕方について扱っており、「伝統文化」マークを表示し、日本の生活文化や郷土の伝統・文化を継承することの大切さに気付くことができる内容になっている。	○	○
家庭 分野 4	豊かな住生活に向けて、幼児や高齢者の家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方や安全な住まい方についての課題を解決することができる内容になっていること。	幼児、高齢者の家庭内事故例が示されているが、家庭内全体の危険箇所については示されていない。自然災害への備えは「私たちの防災」というトピックで詳しく紹介されている。	△	△
家庭 分野 5	自立した消費者を育成するために、計画的な金銭管理、消費者被害への対応に関する内容について、他の内容と関連を図り、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容になっていること。	計画的な金銭管理ではクレジットカードのしくみやキャッシュレス化について取り上げられている。消費生活や環境に配慮した生活については、他の内容との関連を図りながら学習を進めることができる内容となっている。	△	△

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 外国語
（英語）

□各教科共通の観点（外国語）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア	教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーション能力を育成するために、対話的な活動や自分の考えを深めて表現を広げるような活動が盛り込まれている。	○	○
	イ	内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	Unit0では全学年の復習を入れ、接続を意識している。また、既習事項を全学年にスパイラル的に学習できるように配置している。	○	○	
	ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア	各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	小学校からの接続や、学期ごと、学年ごとの接続のためのUnit0があり、既習事項を確認することができる。また、各教科のことを英語で学ぶ、小単元もあり、どの教科と関連しているか明記している。CAN-DOリストに関して、小中高の接続を意識した構成となっている。	○	○
		イ	読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域が配置されているが、全体的に「話すこと」の活動が多く、「聞くこと」が各Partごとに配置されていないため、「聞くこと」の領域が少ない。	○	○
		ウ	「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	2年生からのUnitのタイトルが全て疑問文で問いかけられており、個別でも協働でも、問題解決的な学習をすることが想定された構成になっている。	◎	◎
		エ	生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、共生の視点で取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手となることができるよう、人権のほか、貧困、環境、教育などSDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
		オ	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	3学年共通で友好的な対話活動ができるように配慮されている。	○	○
	カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な言語活動としては、ディスカッションが取り上げられている。生徒の負担にならないよう、例文が提示されている。また、巻末の資料には、各UnitのActivityがさらに深まるような、発展的なものが配置されている。	○	○	
3	分量	ア	全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は1年生が99時間、2年生が98時間、3年生が88時間を想定して作られており、標準授業時数以内に設定されている。学習の対象となる総新語数は、約1700語となっている。	○	○
		イ	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時間内で教材が配分されている。	○	○
		ウ	各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が配置されているが、全体的に「話すこと」の領域が多く、「聞くこと」の活動が少ない。	○	○
4	使用上の便宜	ア	本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図表等が有効に配置されている。また、「Digital Map」で各地の情報を見ることができるようになっており、その国に関する簡単な読み物教材もある。	○	○
		イ	発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末に、「Unit Activity Plus」として、発展的な学習内容であることが明示されている。	○	○
		ウ	1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習者用デジタル教科書において、他国の文化について学べる「Digital Map」があり、生徒は興味関心をもって意欲的にReadingに取り組むことができる。語句やキーセンテンスのクイズがあり、学習者が楽しみながら学習を進めることができる工夫がある。	○	○
5	印刷・製本		ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚の多様性への配慮がなされ、文字の色合いや大きさ、字体など適切である。書きやすいよう、基線と2段目の感覚が広い4線を用いたり、発達段階に合わせた書体を使用したり、配慮されている。大切な情報を太字で示したり、図形を用いて説明したりしているなど、特別支援教育への配慮がある。	○	○

□各教科共通の観点（外国語）教科書会社名（開隆堂）

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	全学年を通して1単元の中に「聞く」「読む」「話す」「書く」活動が配置されており、5領域について統合的な指導ができるようになっている。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料は基礎・基本事項が精選され、易から難へ配列されており、4技能5領域の活動を通じて身に付けられるようになっている。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習の時間、道徳等との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、他の教科との連携ができる。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元末にリテリングのページがあり、本文の内容を自分の言葉で言い換える活動を通し、体験的な学習を行い、生徒の表現力を高めることができる。	◎	◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、ジェンダーの視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手になることができるよう、人権のほか、貧困、環境問題、福祉などSDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	3学年共通で友好的な対話活動ができるように配慮されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な言語活動としては、プロジェクト活動に向けて段階的にディスカッションができるように工夫されており、生徒の負担にならないよう配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は1年生が88時間、2年生が98時間、3年生が95時間を想定して作られており、標準授業時数以内に設定されている。学習の対象となる総新語数は、1644語となっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。会話の場面を想起させるイラストや資料が内容理解を促進させるものになっている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の最後に「Further reading」というまとまった量の英文があり、発展的な内容を学ぶことができる。指導書には教科書に記載されていない、本文に関連する物語が記載されている。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習者用デジタル教科書において、Listening問題が音声と画面が同時に表示され、取り組みやすい。単語アプリを使って単語の取得を個別に進めることができる。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚の多様性への配慮がなされ、文字の色合いや大きさ、字体などが適切である。発達段階に合わせた書体を使用しており、中学校1年生の最初の段階では手書きに近い文字の配慮がされている。内容ごとに背景の色が統一されており、色の系統性も含め、特別支援教育への配慮がある。	○	○

□各教科共通の観点（外国語） 教科書会社名（三省堂）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーション能力を育成するために、Small Talkなどで「伝え合うこと」や「双方向のコミュニケーション」を重視している。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料は易から難へと配置されている。1年生で未来形、2年生で現在完了形を習得し、内容は2年後半から社会的な内容を取り扱っている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習の時間、道徳等との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、他の教科との連携ができる。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	他の教科で学んだ内容を外国語科の学びと結びつけることで、異なる視点から広い視野で思考判断したり、表現したり理解を深めることができる構成となっている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ジェンダーの視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手になることができるよう、人権のほか、貧困、環境問題といった広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	3学年共通で友好的な対話活動ができるように配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	2年生の内容において、軸となる単元とは別系統の単元(Take Action!)にディスカッションがある。段階を経てディスカッションができるように前単元から活動の設定が行われている。3年生の内容においては軸となる単元の最後にディスカッションがあり、中高接続を視野に入れている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は1年生が97時間、2年生が95時間、3年生が93時間を想定して作られており、標準授業時数以内に設定されている。学習の対象となる総新語数は、1627語となっている。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。会話の場面を想起させるイラストや資料が内容理解を促進させるものになっている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の最後に資料として「Further reading / listening」というまとまった量の英文があり、発展的な内容を学ぶことができる。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習者用デジタル教科書において、ビジュアルドラマで発話者に動きがあるため、生徒にとって内容理解をするのに役に立つ。各単元の導入で便利な資料動画が豊富にある。英和辞典があるだけでなく、AIによるモデル文の発音チェック機能がある。これらは生徒が自主的に学習に取り組むきっかけとなる。	◎	◎
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚の多様性への配慮がなされ、複数単元をまたぐプロジェクト学習までUnitの色が統一されており、わかりやすさがある。	○	○

□各教科共通の観点 (外国語) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーション能力の育成を目指し、4技能5領域に設定された目標をそれぞれ達成できるように、内容を配列している。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	言語材料は易から難へと配置されている。1年生で未来形、2年生で疑問詞+toやhelp人+動詞などを習得し、3年後半では新出文法事項がないような配列になっている。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習の時間、道徳等との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、キャリア教育や環境問題、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、他の教科との連携ができる。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うようまんべんなく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	発達段階に応じて、Tipsとして英語へ向き合うことができるようなコツや思考ツールを可視化しており、生徒が自分の課題に向き合った際に主体的に取り組むことができる。	○	○
	配慮事項	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	グローバル、ユニバーサル、ジェンダーの視点で、取り上げる地域や国、人物や職業については、偏りなく幅広い視点で構成されている。また、持続可能な社会の創り手になることができるよう、人権のほか、貧困、環境問題、福祉などSDGsの広い視野に立った指導への配慮がされている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	3年間を通して英語学習法や4技能5領域におけるTipsが発達段階に応じた内容で記載してある。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	3年生の内容において、ディスカッションとディベートがある。どちらもディスカッション・ディベートと表記されている。段階を経て最後のディベートができるように前単元でディスカッションを行い、更にその前の単元では考えをわかりやすく書くコツといった内容になっている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は1年生が109時間、2年生が109時間、3年生が106時間を想定して作られており、標準授業時数以内に設定されている。学習の対象となる総新語数は、約1700語となっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。会話の場面を想起させるイラストや資料が内容理解を促進させるものになっている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の最後に「Further reading」というまとまった量の英文があり、発展的な内容を学ぶことができる。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習者用デジタル教科書において、授業で必要な内容(本文、基本文、単語等)といった独立した内容を複数タブで開け、円滑に授業を行うことができる。生徒が例文を読み上げて録音することでAIが音声で文字化してくれ、正しい発音の練習につながる。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	イラストの線が太く、視認性が悪い。一方で、文字の大きさや行間などは見やすく配置されている。教科書の上から下へ視線を落とす形になっており、他の部分に注意が飛びにくい。	○	○

□各教科共通の観点（外国語）教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	Unit各Partの本文で学習すべき言語材料を提示して、4技能5領域の技能でそれを活用できるように設定されており、コミュニケーション能力の育成を図っているようにしている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	言語材料は易から難へと配置されている。内容においても、3年間の生徒の生活を想定し、生徒が共感できるように配慮している。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習の時間、道徳等との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、文化や考え方の違いなどに様々な内容があり、他の教科との連携ができる。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	4技能5領域をバランスよく使うよう、満遍なく配置されている。また、年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。特に、1年間で5回繰り返す5ラウンドシステムに対応しており、豊富なインプットが可能となる。	◎	◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	発達段階に応じた、学び方や思考の地図で英文の組み立て方や思考の流れを可視化している。生徒が自分の課題に主体的に取り組むことができる。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻頭や巻末では、個に応じた指導に至るまでの「学び方ガイド」の資料が充実している。また、各国の英語の差異といった言語的特徴だけでなく、ユニバーサルやジェンダー等偏りなく幅広い視点で構成されている。さらに、環境問題や防災教育、最新のテクノロジーといった広い視野に立った指導への配慮がされている。	◎	◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	3学年共通で友好的な対話活動ができるように配慮されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な内容としては、Unitの中にディスカッションを取り入れている。登場人物たちの例にならない生徒自身がやってみるため、負担のないような構成になっている。また、「Extra Story」や、「Let's Read More」もあり、より発展的な学習ができるように工夫されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は1年生が100時間、2年生が104時間、3年生が95時間を想定して作られており、標準授業時数以内に設定されている。学習の対象となる総新語数は、1659語となっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。会話の場面を想起させるイラストや資料が内容理解を促進させるものになっている。特に3年生最後の内容では1年生の内容からのストーリーの振り返りがあり、3年間の学びを想起させることができる。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書の付録として「Let's read more」というまとまった量の英文がある。また、各Unitごとに「Extra story」があり、より発展的な内容を学ぶことができる。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習者用デジタル教科書において、実写ドラマやスライドアニメ、速度を変更できるリスニング音声等、個別最適化されたデジタルコンテンツが豊富に含まれている。巻末のStory Retellingのモデル動画があり、生徒の取組の手立てがとれている。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚の多様性への配慮がなされ、文字の色合いや大きさ、字体などが適切である。発達段階に合わせた書体を使用しており、中学校1年生の最初の段階では手書きに近い文字の配慮がされている。	○	○

□各教科共通の観点 (外国語) 教科書会社名 (啓林館)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーション能力の育成のために、Unitの中のLet'sシリーズ(Listen, Read, Talk, Write)などで、言語活動を充実させる仕組みを作っている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	言語材料は基礎・基本事項が精選され、易から難へ配列されており、4技能5領域の活動を通じて身に付けられるようになっている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示された事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科や総合的な学習の時間、道徳等との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。また、文化や考え方の違いなど様々な内容があり、他の教科との連携ができる。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	年間を通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。各Partごとに、目的や場面、状況などを考慮した自己表現活動が設けられており、使える表現も同じページに配置されており、使いやすい。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各Unitの内容も、環境問題や、ユニバーサルデザインについて取り上げられており、問題解決的な学習ができるようになっている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	文法のまとめのページや、英文の作り方が教科書内に明記されており、自分のペースで学習を進めることができるよう、配慮されている。また、持続可能な社会の作り手となることができるよう、SDGsの広い視野に立った指導への配慮がなされている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	3学年共通で友好的な対話活動ができるように配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	2年生の内容にプロジェクト学習としてディスカッションがある。段階を経て、ディスカッションができるように活動の設定が行われている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は1年生が103時間、2年生が109時間、3年生が90時間を想定して作られており、標準授業時数以内に設定されている。学習の対象となる総新語数は、1850語となっている。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4技能5領域が、偏りなく配列されており、調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、思考ツールや発達段階に合わせた「ワードバンク」(文章を書く際に参考になる単語)が有効に活用されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容の明示はない。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習者用デジタル教科書において、文法説明や本文のアニメ、速度を変更できるリスニング音声等、個別最適化されたデジタルコンテンツが豊富に含まれている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字の大きさが全体的に小さい。配色に関しても、見づらいところがある。カラーユニバーサルに関する校閲が著作権関係者欄にない。	△ △

□外国語（英語）の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

外国語(英語)の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	小学校で学んだことを中学校の学習内容に生かすことで小中の円滑な接続ができるように工夫されている。「小学校の単語」として明示している。(Unit 5まで)「Small Talk」のテーマ・解答例があることで、自分の考えを表現したり、伝え合ったりして資質をはぐくむことにつながる内容になっている。	○	○
2 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	本文の中で新出文法事項をつかみ、活用していく流れになっている。単元の最後に「Grammar for Communication」があり、文法を確実に定着させるページが示されている。	○	○
3 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	複数単元の既習表現を使用するプロジェクト学習「Stage Activity」では、活動の目的・場面設定をを動画で最初に認識させ、その後の活動に進みやすくする工夫が見られる。	◎	◎
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	巻末の「Word Room」において、イラストや日本語訳とともに、日常的に使用する単語の一覧が掲載されている。単語の提示だけでなく、語句のまとまりや具体的な例文があるといえる。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	単元に関連するコラムが掲載されていたり、世界の食べ物、動物、人々などの英語の文があることで、自分の国以外について学び、知ることができる。日本語指導が必要な外国籍の生徒にも対応できる学習者用デジタル教科書のコンテンツがある。	○	○

□外国語（英語）の観点 教科書会社名（ 開隆堂 ）

外国語(英語)の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	生徒が興味関心をもって取り組むことができる工夫があり、小学校の学びをいかして中学校の学びへと円滑に接続できる構成となっている。特に、「文のかき方ルール」のページでは、中学校で「書く」ことを意識づけるために、わかりやすく明示している。	○	○
2 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	Scenesというコーナーで新出文法事項の使い方をつかみ、運用したのち、本文の読解に進む流れになっている。1年生では新しい表現を習得するために様々な方法で活用できる「アクションカード」が巻末に付いている。	○	○
3 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	複数単元の既習内容を使う「Our Project」というプロジェクト学習を行う際には、細かな配慮がされており、生徒がスモールステップで目標が達成できる丁寧な構成となっている。また、導入から発表のふり返りまでが取り組みやすい数ページにわたる構成となっている。	◎	◎
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	生徒が相手に伝えたいことが表現できるように各セクションには「Word Box」、巻末には「Word Web」が設けられている。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	国際的な視点を育むために異文化情報が得られるページが学期ごとに設定されている。英語に苦手意識をもっている生徒も言語学習に興味関心がもつことができる。持続可能な社会を育むためにSDGsに関連した題材を豊富に設けられており、達成する重要な項目内容が単元の最初に示されており、生徒が意識して学習に取り組める工夫がされている。	○	○

□外国語（英語）の観点 教科書会社名（ 三省堂 ）

外国語(英語)の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	小中の接続期の言語活動として「サイコロトーク」や「クラスランキング」が設定されている。生徒が興味関心をもって取り組むことができる工夫があり、小学生の学びをいかして中学校の学びへと円滑に接続できる構成となっている。	○	○
2 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	Scene1というコーナーで新出文法事項の使い方をつかみ、運用したのち、本文の読解に進む流れになっている。単元の中では文法事項を最小限にとどめ、単元のまとめ「Language Focus」でイラストを用い、文法をわかりやすく説明している。	◎	◎
3 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	「Goal Activity」や「Project」では、動画やスクリプトを見て内容を理解し、その表現を使って自分の伝えたい表現ができるように、丁寧なステップが設定されている。ロールプレイシートがあることで、場面をイメージしながら自分の伝えたいことを表現することができる。	◎	◎
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	巻末にリスニングスクリプトがあり、実際の場面で使用される語彙の充実を図ることができる。「Word Bank」があることで、会話が続くような工夫がされている。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点到に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	3年間にわたり世界の地理や文化、習慣について理解したり、自国の文化と比較したりして異文化理解を充実できるものとなっている。また、SDGsの視点にたった持続可能な社会を実現するために必要な人材を育成するための見方や考え方を身につける題材となっている。例えば、1年生では障がい者スポーツや防災教育、2年生では環境問題や異文化理解、3年生では国際平和や平等。	○	○

□外国語（英語）の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

	外国語(英語)の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	中学1年生の教科書P20にあるような小学校で大切にしてきた英語の学習の仕方についてまとめてあり、英語学習の仕方が可視化されている。小中の接続がうまくいくような配慮がなされている。	○	○
2	実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	本文の中で新出文法事項をつかみ、活用していく流れになっている。Grammarのページに各Lessonごとの文法はまとめられているが、各partごとの文法紹介[右上]で英文の日本語訳や英文の作り方が詳しく書いていない。	△	△
3	実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	「Tips for Reading」など、生徒自らが読みたいと思える題材が設定されている。生徒の興味関心を高めるプロジェクトが学期に1回設定されている。	○	○
4	幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	即興的なやり取りの力を伸ばすために、学習段階に応じた豊富な会話例(Activities PlusやUseful Expressions)が掲載されている。	○	○
5	教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	多様な考え方に対する理解を深めさせたり、広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神を養うような題材がある。例えば、1年生でSDGs、2年生で環境問題、3年生で働くことの意義など。	○	○

□外国語（英語）の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

外国語(英語)の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	生徒が興味関心をもって取り組むことができる工夫があり、小学校の学びをいかして中学校の学びへと円滑に接続できる構成となっている。小学校で学習した語句・表現にマークが付いており、一目でわかるようになっている。	○	○
2 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	本文の中で新出文法事項をつかみ、活用していく流れになっている。「Active Grammar」のページに単元で学習した文法がまとまっている。デジタルコンテンツの中にも登場人物が文法表現について会話形式で説明されている。	○	○
3 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	単元末の「Goal」や複数単元の総復習になる「You Can Do It!」では、自分の考えや意見をもち相手に伝える活動が各学年に設定されている。表現例も掲載されているため、生徒が英語を使用する際の手助けとなっている。	○	○
4 幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	各学年の学習に合わせてテーマごとに表現がまとまったページが設けられており、3年生の教科書については発展的な表現も取り扱っている。巻末の「Active Words」が充実しており、使いやすい。	○	○
5 教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	持続可能な社会の実現に向け、SDGsの教材がある。また、世界が抱える課題を提示し、生徒が広い視野から国際理解を深め、国際社会の一員として自ら行動を起こすきっかけとなる題材が設定されている。	○	○

□外国語（英語）の観点 教科書会社名（ 啓林館 ）

外国語(英語)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	第2次福岡市教育振興基本計画に示されている福岡スタイルに基づき、小学校における外国語活動及び外国語ではぐくまれた素地及び基礎の上に、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することに配慮された内容になっていること。	「英語の学び方」では、生徒が自分自身で英語学習を進めていくために、語彙、音声、表現の観点から個別最適な学びに繋がりがやすい。	○	○
2	実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの実践的なコミュニケーション活動を行うとともに、それを支える英語の特徴やきまりに関する事項について理解したり練習したりする活動を行うことができる内容になっていること。	本文の中で新出文法事項をつかみ、活用していく流れになっている。各Unitごとにある「Focus on Form」や、デジタル教科書内での「本文を活用した文法解説」があることで、基礎学力の定着や発展的な内容を表現する際の手立てとなっている。	○	○
3	実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な目的や場面、状況等に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができる内容になっていること。その際、様々な形態のコミュニケーション活動の設定が可能であること。	Projectのページでは最初、生徒がゴールをイメージできるよう課題に取り組む場面が与えられており、生徒は見通しをもって言語活動に取り組むことができるようになっている。	○	○
4	幅広い言語活動ができるように、言語の使用場面や言語の働きなどを考慮した語彙の充実が図られる内容になっていること。	言語活動を行う際のページに「tool box」や具体的な文例があることで語彙の充実が見られ、幅広い言語活動ができるようになっている。	○	○
5	教材は、英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮がされた内容になっていること。 ア 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を深め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	取り上げてある題材やテーマが多岐にわたっており、広い視野から国際理解を深めると同時に、自国の文化との比較ができるようになっている。そのことにより、多様な考え方に対する理解を育むことが期待できる。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 道德

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。学校生活や発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	学習活動の流れや話し合い活動の意義を説明している。言語能力や情報活用能力の育成のポイントについて説明している。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるよう問題解決的な学習を取り入れている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に生徒が学んだ内容を記録する欄を設け、学びの過程を時系列で確認できるようになっている。SDGsに関する教材を取り上げている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容が適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容が明示されており、それ以外の内容と区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	関連したワークシート、朗読音声に加え、資料、動画、VR、思考ツールなどを活用できるようになっている。	◎ ◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている。	○ ○

□各教科共通の観点（道徳）教科書会社名（教育出版）

	各教科共通の観点	所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。学校生活や発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	学習活動の流れや話し合い活動の意義を説明している。言語能力や情報活用能力の育成のポイントについて説明している。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるよう問題解決的な学習を取り入れている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に生徒が学んだ内容を記録する欄を設け、学びの過程を時系列で確認できるようになっている。SDGsに関する教材を取り上げている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容が適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容が明示されており、それ以外の内容と区別されている。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	関連する資料や動画を活用できるようになされている。	○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている。	○	○

□各教科共通の観点（道徳） 教科書会社名（ 光村図書 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○

□各教科共通の観点（道徳）教科書会社名（日本文教出版）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。学校生活や発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	学習活動の流れや話し合い活動の意義を説明している。言語能力や情報活用能力の育成のポイントについて説明している。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるよう問題解決的な学習を取り入れている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	別冊ノートに生徒が学んだ内容を記録する欄を設け、学びの過程を時系列で確認できるようになっている。SDGsに関する教材を取り上げている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容が適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容が明示されており、それ以外の内容と区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	関連した朗読音声やワークシートに加え、動画や資料、思考ツールなどを活用できるようになされている。	◎ ◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている	○ ○

□各教科共通の観点（道徳）教科書会社名（学研）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。学校生活や発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	学習活動の流れや話し合い活動の意義を説明している。言語能力や情報活用能力の育成のポイントについて説明している。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるよう問題解決的な学習を取り入れている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に生徒が学んだ内容を記録する欄を設け、学びの過程を時系列で確認できるようになっている。SDGsに関する教材を取り上げている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容が適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容が明示されており、それ以外の内容と区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	関連する資料や動画を活用できるようになされている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている。	○ ○

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (あかつき教育図書)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。学校生活や発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	学習活動の流れや話し合い活動の意義を説明している。言語能力や情報活用能力の育成のポイントについて説明している。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるよう問題解決的な学習を取り入れている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻末に生徒が学んだ内容を記録する欄を設け、学びの過程を時系列で確認できるようになっている。SDGsに関する教材を取り上げている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容が適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容が明示されており、それ以外の内容と区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	教材に関連した動画や資料を活用できるようになされている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている。また、本文のフォントを印刷に統一し配慮されている。	◎ ◎

□各教科共通の観点（道徳）教科書会社名（日本教科書）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめることができるものとなっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。学校生活や発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳科の内容と他の教科の関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	学習活動の流れや話し合い活動の意義を説明している。言語能力や情報活用能力の育成のポイントについて説明している。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が日常生活で出会うであろう場面が取り上げられており、生徒に興味をもたせ、主体的・対話的な学習ができるよう問題解決的な学習を取り入れている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学んだ内容を記録するメモ欄を各教材に設け、感じたこと等を記録できるようになっている。SDGsに関する教材を取り上げている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数よりも少ない34教材しか取り扱われていない。	△ △
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習指導要領の内容が適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく、掲載している。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容が取り上げられていない。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	教材に関連した動画や資料を活用できるようになされている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、色覚特性に対する配慮がなされ、装丁、紙質も適切で、製本もしっかりとしている	○ ○

□道徳の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

道徳の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補充・深化・統合できる内容になっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	みつめようで人間としての生き方について考え、巻末に学期ごとの記録用紙や小学校で学習した教材を掲載しており、生徒が自らの成長を実感できるようなされている。	◎	◎
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	自分の考えを視覚化するデジタル心情円や切り取って使える心情円が付録として用意されたり、考えを出しやすい話し合う方法が例示されたりしている。	◎	◎
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	生徒が自分との関わりで広い視野から多面的・多角的な判断をするための資料や補助教材が掲載されている。	○	○
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、身近な社会的課題について考えられる内容になっている。さらに、様々な社会的課題について1つの教材として丁寧に取り扱っている。	◎	◎
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	ユニットとしていじめ問題について直接的に扱い、いろいろな立場から人権問題・いじめ問題について深く考える内容になっている。	○	○

□ 道徳の観点 教科書会社名 (教育出版)

道徳の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	☐	☐
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補充・深化・統合できる内容になっている。	☐	☐
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	学びの道しるべで人間としての生き方について考え、巻末に学期ごとの記録用紙があり、生徒が自らの成長を実感できるようなされている。	☒	☒
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	自分の考えや感じたことをまとめ、発表できるような問いが掲載されている。	☐	☐
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	生徒が自分との関わりで広い視野から多面的・多角的な判断をするための資料や補助教材が掲載されている。	☐	☐
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っている。	☐	☐
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、身近な社会的課題について考えられる内容になっている。	☐	☐
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	ユニットとしていじめ問題を直接的に扱った教材や差別を防ぐ教材、コラムと組み合わせるなど、人権問題・いじめ問題について深く考える内容になっている。	☐	☐

□道徳の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

道徳の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補充・深化・統合できる内容になっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	つなげようで人間としての生き方について考え、巻末に授業ごとの記録用紙や小学校で学習した教材を掲載しており、生徒が自らの成長を実感できるようなされている。	◎	◎
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	チャレンジ、やってみようなどで、話し合い方の例示や具体的な話し合い方の例示がある。まなびの道具箱で考えを表現するためのツールが紹介されている。	◎	◎
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	生徒が自分との関わりで広い視野から多面的・多角的な判断をするための資料や補助教材が掲載されている。	○	○
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、身近な社会的課題について考えられる内容になっている。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	いじめ問題を扱うユニットを設け、まなびをプラスで前教材の内容を自分事としてや違う角度から人権問題・いじめ問題について深く考える内容になっている。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名（ 日本文教社 ）

道徳の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補充・深化・統合できる内容になっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	自分にプラス1で人間としての生き方について考え、別冊ノートに授業ごとの記録用紙があり、生徒が自らの成長を実感できるようなされている。	◎	◎
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	学びを深めようで、学びを深めるヒントとして付箋等で考えを表現させ話し合う方法を具体的に例示している。	◎	◎
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	生徒が自分との関わりで広い視野から多面的・多角的な判断をするための資料や補助教材が掲載されている。	○	○
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方ができる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、身近な社会的課題について考えられる内容になっている。さらに、様々な社会的課題について1つの教材として丁寧に取り扱っている。	◎	◎
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	ユニットとしていじめ問題について教材で直接的・間接的に考え、コラムで知識を深めスキルを身に着ける構成にするなど、人権問題・いじめ問題について深く考える内容になっている。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名（ 学研 ）

	道徳の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補充・深化・統合できる内容になっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	考えようで人間としての生き方について考え、巻末に学期ごとの記録用紙があり、生徒が自らの成長を実感できるようなされている。	◎	◎
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	深めようで、自分の考えや立場を視覚化させるようにし、それをもとに互いの考え考えを出しやすいように話し合う方法を例示している。	◎	◎
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	生徒が自分との関わりで広い視野から多面的・多角的な判断をするための資料や補助教材が掲載されている。	○	○
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共有」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っている。	○	○
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、身近な社会的課題について考えられる内容になっている。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	いじめ問題について直接的・間接的に考えられる内容項目の教材を年間通して配置するなど、人権問題・いじめ問題について深く考える内容になっている。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名（ あかつき ）

道徳の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	☐	☐
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補充・深化・統合できる内容になっている。	☐	☐
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	自分との対話で人間としての生き方について考え、巻末に学期ごとの記録用紙があり、生徒が自らの成長を実感できるようなされている。	☒	☒
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	自分の考えや感じたことをまとめ、発表できるような問いが掲載されている。	☐	☐
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	生徒が自分との関わりで広い視野から多面的・多角的な判断をするための資料や補助教材が掲載されている。	☐	☐
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っている。	☐	☐
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、身近な社会的課題について考えられる内容になっている。	☐	☐
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	いじめ防止につながる大切な心を育てる教材をユニット化し、いろいろな角度から人権問題・いじめ問題について深く考える内容になっている。	☐	☐

□道徳の観点 教科書会社名（ 日本教科書 ）

道徳の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	☐	☐
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」を補ったり、深めたり、捉え直したり発展させたりすることができる内容になっていること。	各教科で行う道徳教育や「福岡スタンダード」を補充・深化・統合できる内容になっている。	☐	☐
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	深めようで人間としての生き方について考えられるよう配慮されている。	☐	☐
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、討論などにより考え方、感じ方の異なる人の考えに接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	自分の考えや感じたことをまとめ、発表できるような問いが掲載されている。	☐	☐
5	生きる上で出会う様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う学習ができる内容になっていること。	生徒が自分との関わりで広い視野から多面的・多角的な判断をするための資料や補助教材が掲載されている。	☐	☐
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、家庭・地域・企業と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っている。	☐	☐
7	情報モラル、自然環境保全、生命や人権、性的マイノリティなどの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に向けて取り組もうとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われる課題については偏りがなく、身近な社会的課題について考えられる内容になっている。さらに、様々な社会的課題について1つの教材として丁寧に取り扱っている。	☒	☒
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	いじめ問題について直接的・間接的に考えられる内容項目の教材を取り上げたり学校生活の中でいじめに陥りやすい場面を多く取り上げるなど、いじめ問題について人権問題・いじめ問題について深く考える内容になっている。	☐	☐

